

## パピーウォーカーとは

パピーウォーカーとは介助犬候補の子犬を約10カ月間、家族の一員として迎え育てていただくボランティアです。子犬が1歳になるまでの期間は、人間に例えると3歳～20歳くらいにあたります。この期間の過ごし方や経験が子犬の性格形成に大きな影響を与えます。パピーウォーカーの一般家庭で愛情をたくさん受けて人を好きになること、家庭での生活環境に慣れるなど人と一緒に暮らすために必要なマナーを身に付けます。



## パピーウォーカーになるための条件

### ① 近畿介助犬協会近郊にお住まいで、自家用車をお持ちである

協会まで1時間以内にお住まいがあること。

協会でのしつけ教室にご参加いただく時など移動手段として車が必要となります。車に乗ることに慣れさせる練習にもなります。

### ② 月1回、当協会にて開催されるしつけ教室に参加をお願い致します

基本的なしつけ、家庭内でのルールなど犬との接し方や健康管理の方法を指導します。また、実際の飼育環境での子犬の状況を確認するためご家庭に訪問指導をさせていただきます場合があります。

### ③ 室内飼育ができる

室内犬舎を使用して飼育します。

介助犬は体の不自由な方と生活を共にするため室内飼育となります。

人間と生活するためのルールを身に付けなければいけません。

(例：物を噛まない、無駄吠えをしない、人の食べ物を欲しがらないなど)

### ④ なるべく留守にしない

1日3~4回の食事と排泄のしつけの為、長時間の外出を控えていただきます。

(決められた時間や場所での排泄を覚えるまでは失敗をしないように犬をよく観察していただきます。)

### ⑤ 犬のしつけに家族全員で参加

子犬が正しいマナーを身に付けるために家族全員の理解と協力が必要です。

万が一、犬が飛び付くなどの行為で怪我・事故になる場合があることを考慮して、3歳以下のお子様やご高齢の方がいるご家庭はお断りさせていただきます。

### ⑥ 現在、犬の飼育をされていない方

飼育している犬がいるご家庭には子犬の飼育をお願いできません。

子犬の飼育に十分なゆとりと時間を作ることで、子犬の人間との社会化に適切な環境を整えていただくためです。 ご了承ください。

### ⑦ 集合住宅にお住まいの方は管理者側の承諾を得ること

集合住宅の規定で犬の飼育が認められていても体重20~30kgの大型犬の飼育が不可な場合もあります。

住宅管理者側の承諾がなければ、飼育をお願いすることはできません。

### ⑧ その他

子犬飼育中のペットシートやおもちゃなどの消耗品や狂犬病予防注射・ワクチンを除く日常の治療費はパピーウォーカーの負担となります。

そのため月々4,000円程度のご負担があることをご了承ください。

その他、必要に応じて当協会の指示に従っていただきます。